

Process Technical Report Ⅲ

加工技術の紹介 Ⅲ

■研磨技術

弊社の研磨工程では、光コネクタの研磨、ガラスロッド(長さ300mm以下)の研磨、ガラスの形状加工の実施が可能です。特にガラスの形状加工においては、ユニークな形状を作製することが可能です。

●円錐加工、矩形ロッド、D面加工

直径1mm以上のガラスロッドの先端を研削及び研磨加工によって先鋭化し、円錐状にします。また、円錐加工以外にも、D面加工や矩形ロッドなどの加工が可能です。

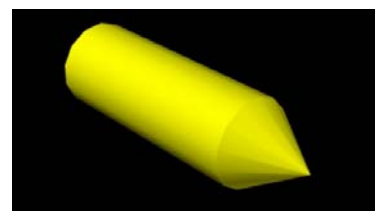
加工できる材質は、合成石英・熔融石英のほか、ホウケイ酸ガラスやその他の多成分ガラス等です。加工面にはアルミやクロム、金といった金属薄膜、無反射膜等を成膜可能です。

上記以外にも、ご要望に応じて加工検討を致します。

加工例

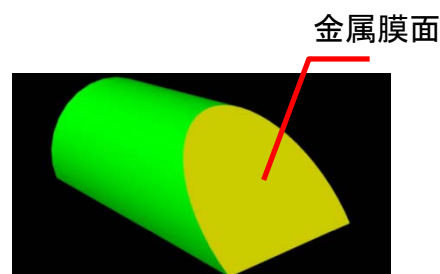
・円錐加工 :

ガラスロッドの端部を、任意の角度で円錐状に加工します。ガラスロッドは直径1mm以上から加工が可能です。



・D面加工 :

ガラスロッドの側面をフラット化(D面形成)後、ガラスロッド端部の斜め加工+金属薄膜形成します。



・角柱、三角柱 :

ガラス母材を角柱・三角柱に加工後、線引き加工によって、長手方向に均一な形状の角柱・三角柱が得られます。

※線引き時の過熱によって、角が曲面になります

